

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GS ハイ・イールド・ボンド・ファンド」は、このたび、第234期～第239期の決算を行いました。本ファンドは、米国を中心としたハイ・イールド社債を主要投資対象として、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

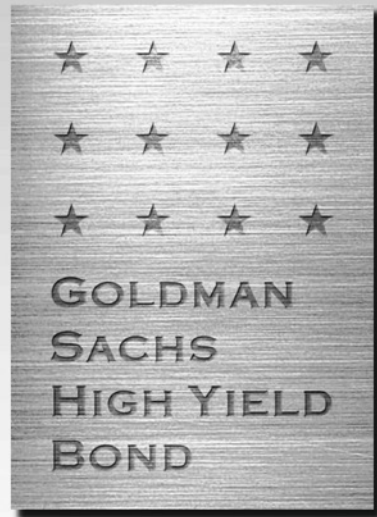
第239期末 (2024年9月10日)		第234期～第239期	
基準価額	3,188円	騰落率	2.0%
純資産総額	36,169百万円	分配金合計	120円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付できる旨が定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

GS ハイ・イールド・ボンド・ファンド

追加型投信／海外／債券

第234期 (決算日2024年4月10日)
第235期 (決算日2024年5月10日)
第236期 (決算日2024年6月10日)
第237期 (決算日2024年7月10日)
第238期 (決算日2024年8月13日)
第239期 (決算日2024年9月10日)

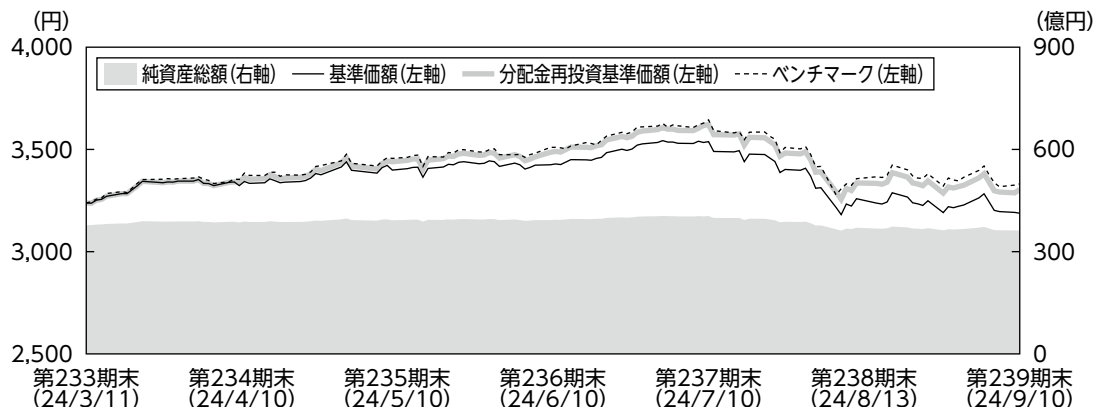
作成対象期間：2024年3月12日～2024年9月10日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先：03-4587-6000 (代表)
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2024年3月12日～2024年9月10日）



第234期首：3,238円

第239期末：3,188円

（当作成期中にお支払いした分配金：120円）

騰落率：+2.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) ベンチマークはブルームバーグUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）です。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の3,238円から50円下落し、期末には3,188円となりました。

上昇要因

米国債の利回りが低下（価格は上昇）したことや、保有しているハイ・イールド社債からのクーポン収入などが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルが対円で下落したことや、分配金をお支払いしたことなどが、基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第234期～第239期		項目の概要
	2024年3月12日～2024年9月10日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	17円 (3)	0.496% (0.083)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(13)	(0.397)	
(受託会社)	(1)	(0.017)	
その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.006 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.003)	
合計	17	0.502	
期中の平均基準価額は3,383円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

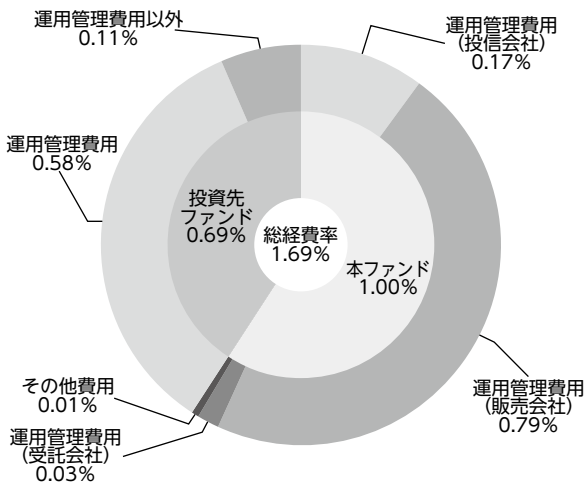
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



総経費率 (①+②+③)	1.69%
①本ファンドの費用の比率	1.00%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

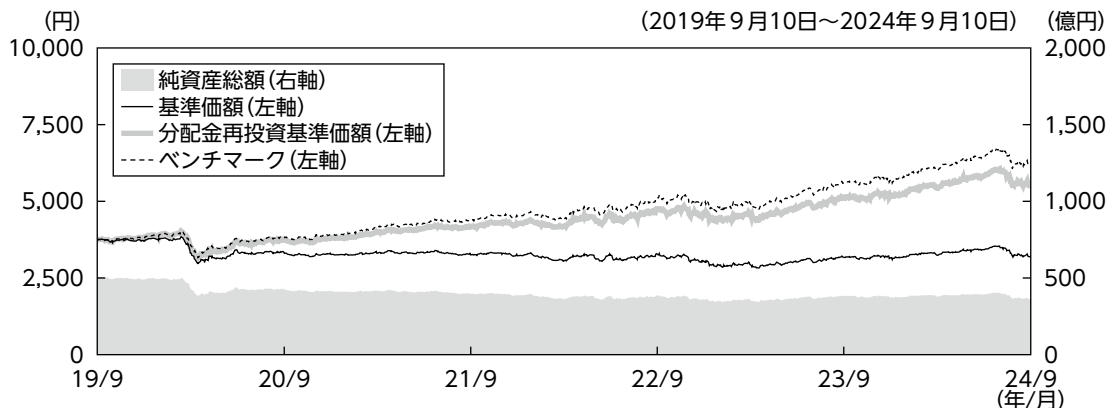
(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2019年9月10日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) ベンチマークはブルームバーグU S コーポレート・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）です。

最近5年間の年間騰落率

	2019/9/10 決算日	2020/9/10 決算日	2021/9/10 決算日	2022/9/12 決算日	2023/9/11 決算日	2024/9/10 決算日
基準価額（分配落）（円）	3,725	3,305	3,253	3,251	3,170	3,188
期間分配金合計（税引前）（円）	—	420	420	420	300	240
分配金再投資基準価額騰落率	—	0.2%	11.8%	13.9%	7.6%	8.2%
ベンチマーク騰落率	—	2.9%	14.4%	16.6%	9.4%	10.2%
純資産総額（百万円）	50,024	42,272	39,479	38,273	38,085	36,169

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) ベンチマークはブルームバーグU S コーポレート・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）です。

■ 投資環境について

<米国債券市場>

当期の米国債券市場では、10年国債利回りは低下しました。

期初は、2月のコアCPI（食品とエネルギーを除く消費者物価指数）やPPI（生産者物価指数）がいずれも市場予想を上回り、市場の早期利下げ期待が後退したことなどから利回りは上昇しました。また、3月の雇用統計における非農業部門雇用者数や小売売上高がいずれも市場予想を上回り、景気の先行きに対する楽観的な見方が広がったことなども利回り上昇要因となりました。その後は、4月のISM（米供給管理協会）景況指数が製造業と非製造業のいずれも市場予想を下回り、景気の先行きに対する楽観的な見方が弱まったことなどから、利回りは低下に転じました。

期中盤にかけては、4月の雇用動態調査における非農業部門の求人件数が市場予想を下回った局面などでは利回りが低下する一方、6月のPMI（購買担当者景気指数）速報値が製造業と非製造業のいずれも市場予想を上回ったことや、大統領候補者による討論会が開催されトランプ氏が再選された場合、財政不安が高まるとの見方が強まった局面などでは利回りが上昇するなど、一進一退の推移となりました。

期の後半に入ると、FRB（米連邦準備制度理事会）はFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利を据え置いたものの、9月の利下げの可能性が高まったことや、7月のISM製造業景況指数や雇用統計がいずれも市場予想を下回り、米国の景気減速懸念が強まったことなどを受けて、米国10年国債利回りは概ね低下基調で推移した結果、前期末を下回る水準で期を終えました。

<ハイ・イールド社債市場>

期の前半は、中東情勢の先行き不安から投資家心理が悪化し、金利と市場のボラティリティが上昇した局面などではスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）が拡大する一方、市場予想を下回る米景気指標の発表などに伴い、金利が低下した局面などではスプレッドが縮小するなど、概ねレンジ内で推移しました。

期の後半に入ると、米国の主要景気指標が弱含み、市場のボラティリティが上昇したことなどを受けて、スプレッドは拡大しましたが、世界の主要株価指数が総じて反発し、投資家のリスク回避的な動きが弱まるとスプレッドは縮小に転じました。期末にかけては、原油価格が下落したことや、社債発行の増加に伴い需給が緩んだことなどから、スプレッドが拡大する局面もありました。

<外国為替市場>

当期は、米ドルは円に対して下落しました。

期初は、3月の米CPIが市場予想を上回ったことに加えて、米経済の底堅さが意識されたことや、円安による物価への影響は限定的とする日銀総裁の発言などを受けて、円安米ドル高が進みました。期中盤にかけても、米国の主要経済指標が上振れたことや、日銀が国債買い入れ減額の発表を先送りした局面などで、ドルを買う動きが概ね優勢になりました。

期の後半に入ると、米CPIが下振れたことや、日銀による追加利上げ期待が高まる一方で、米景気の減速懸念が強まり、日米間の金利差縮小が意識されたことなどから、ドルを売って円を買い戻す動きが概ね継続し、前期末比で円高米ドル安となる水準で期を終えました。

<短期金融市場>

米国T-Bill 1ヵ月は期首の5.3%から低下し、期末には5.0%となりました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドはグローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてグローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡを概ね高位に組入れ、米国を中心としたハイ・イールド社債を実質的な投資対象とすることにより、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

<グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ>

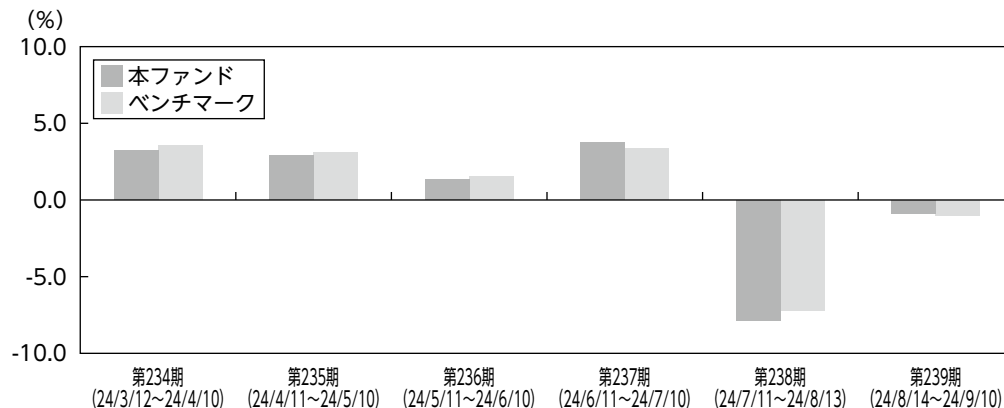
米国を中心とした高利回り社債に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目的として、運用を行いました。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

<当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）>



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) ベンチマークはブルームバーグU S コーポレート・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）です。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+2.0%となり、ベンチマーク（+2.9%）を下回りました。

当期は、セクター別では、メディアやレンタル器具セクターのアンダーウェイトなどがプラス寄与となったものの、固定電話やヘルスケアセクターのアンダーウェイトなどがマイナス寄与となりました。また、固定電話セクターの個別銘柄選択などがプラス寄与となった一方で、ヘルスケアや携帯電話セクターの個別銘柄選択などがマイナス寄与となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第234期から第239期は各20円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
	2024年3月12日 ~2024年4月10日	2024年4月11日 ~2024年5月10日	2024年5月11日 ~2024年6月10日	2024年6月11日 ~2024年7月10日	2024年7月11日 ~2024年8月13日	2024年8月14日 ~2024年9月10日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.598	0.585	0.581	0.563	0.614	0.623
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,056	2,081	2,105	2,132	2,153	2,174

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続きグローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

<グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ>

ハイ・イールド社債市場についてはやや強気にみています。利回りの高さに加えて、社債の発行が回復傾向にあることや、企業は豊富な現預金を保有するなど、バランスシートは概ね健全で、同市場全般の格付けが改善していることなどが追い風になるとみています。

セクター別では、利ざやの改善が見込まれる銀行セクターや、景気サイクルを通して需要が総じて底堅く、利回りが魅力的な化学セクターなどを強気にみています。一方、オンライン・ショッピングの台頭や、景気後退に伴う消費者心理の悪化懸念が向かい風になり得る小売り／アパレルセクターや、需要減退に加えて、価格競争力の低下や設備投資の増加に伴うキャッシュフローの減少が予想される金属／鉱業セクターの投資妙味は低いとみています。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

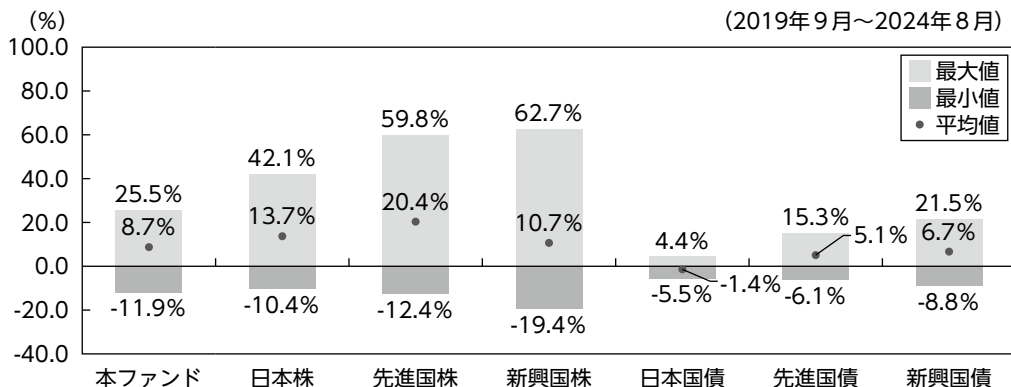
(上記見通しは2024年9月10日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	投資適格未滿に格付けされた高利回りの債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）から構成される高い水準のトータル・リターンを獲得することによって信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・インスティテューショナル・ファンズ・ピーエルシー ①グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	欧米の企業により発行された投資適格格付未滿に格付された高利回りの債券
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③指定投資信託証券および外国法人が発行する譲渡性預金証書以外の外貨建資産、および、株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年9月から2024年8月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキユリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2024年9月10日現在）

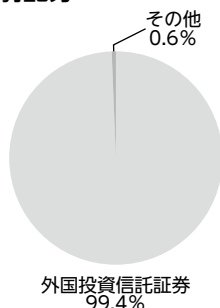
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

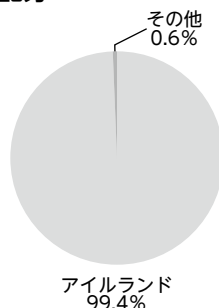
ファンド名	比率
グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ	96.6%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.7%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

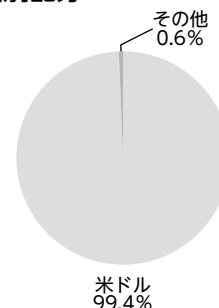
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

■ 純資産等

項目	第234期末	第235期末	第236期末	第237期末	第238期末	第239期末
	2024年4月10日	2024年5月10日	2024年6月10日	2024年7月10日	2024年8月13日	2024年9月10日
純資産総額	38,576,595,592円	39,200,176,699円	39,268,496,683円	40,352,221,828円	36,772,515,285円	36,169,983,866円
受益権総口数	116,098,549,939口	115,334,269,608口	114,655,776,552口	114,188,340,420口	113,589,500,266口	113,450,432,757口
1万口当たり基準価額	3,323円	3,399円	3,425円	3,534円	3,237円	3,188円

（注）当作成期首元本額は116,602,710,837円、当作成期間（第234期～第239期）中において、追加設定元本額は1,486,174,785円、同解約元本額は4,638,452,865円です。

組入上位ファンドの概要

<グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ> (2023年12月31日現在)

* 2024年9月10日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2023年1月1日～2023年12月31日)



* FOF 1・シェアクラスの純資産価格

○組入上位10銘柄

	銘柄	通貨	比率
1	CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp	米ドル	0.8%
2	Urban One Inc	米ドル	0.6%
3	Arko Corp	米ドル	0.6%
4	USA Compression Partners LP / USA Compression Finance Corp	米ドル	0.5%
5	Las Vegas Sands Corp	米ドル	0.5%
6	RegionalCare Hospital Partners Holdings Inc / LifePoint Health Inc	米ドル	0.5%

○費用明細 (2023年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	1,536,452
管理事務代行報酬および保管費用	171,673
名義書換事務代行報酬	12,848
専門家報酬	88,392
その他費用	84,948
費用合計	1,894,313
投資顧問報酬および諸費用の調整額	(1,318)
運用費用合計	1,892,995

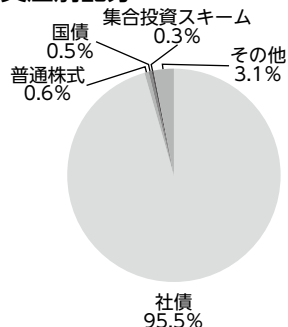
(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

(組入銘柄数: 540銘柄)

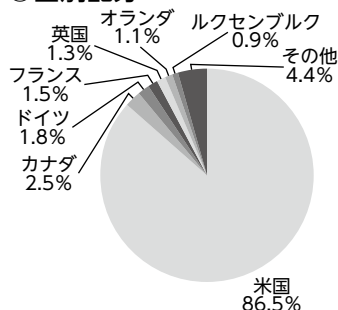
	銘柄	通貨	比率
7	TransDigm Inc	米ドル	0.5%
8	Global Aircraft Leasing Co Ltd	米ドル	0.5%
9	CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp	米ドル	0.5%
10	Jazz Securities DAC	米ドル	0.5%

(注) 比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

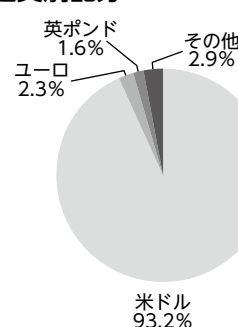
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

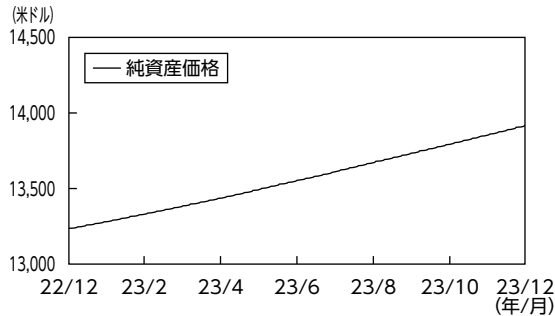
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2023年12月31日現在)

* 2024年9月10日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2023年1月1日~2023年12月31日)

* インスティテュショナル・アキュムレーション・シェア
クラスの純資産価格

○組入上位10銘柄

	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	9.2%
2	MUFG Securities (Canada) Ltd Repo	現先取引	5.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.2%
4	United States Treasury Bill	国債	2.7%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	2.1%

○費用明細 (2023年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	79,458,622
管理事務代行報酬	1,331,844
保管費用	1,795,618
販売報酬	2,811,628
名義書換事務代行報酬	894,982
専門家報酬	57,139
その他費用	4,936,236
費用合計	91,286,069
投資顧問報酬調整額	(8,856,966)
運用費用合計	82,429,103

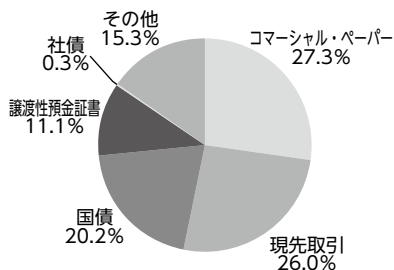
(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

(組入銘柄数: 205銘柄)

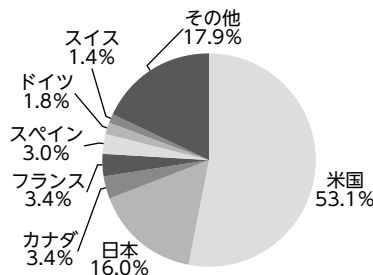
	銘柄	種別	比率
7	Nomura Securities Repo	現先取引	2.0%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%
10	Citigroup Global Markets Inc Repo	現先取引	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

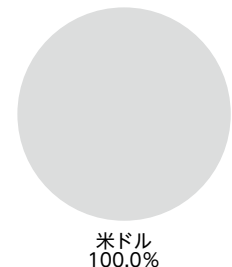
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。